

本計画は、「中太閤山まちづくり地域振興会自主防災会地区防災計画」の下位に位置付けられるもので、平成29年、30年、31年の3年間に中太閤山まちづくり地域振興会自主防災会（以下、中太自主防という）と各町内の自主防災組織との目標や実施事項を表します。

1. 目的

直接的な目的は、地域防災力の向上です。ねらいは、安全で安心なまちづくり、地域コミュニケーションの向上です。

2. ゴール

－自助について－

①住民ひとりひとりが、それぞれの立場で防災意識を持っている状態となること。具体的には、子ども、青年、おとな、高齢者が地震等の災害時にどのような行動をすればよいか、理解し行動できる状態をつくること。

－共助について－

②射水市、中太自主防、各町内会（自主防災組織）、の間において、平常時・災害時の連携が確立されていること。
③災害時に、各町内会や町内会各班が適切に行動し、安全に避難できる力を身につけていること。

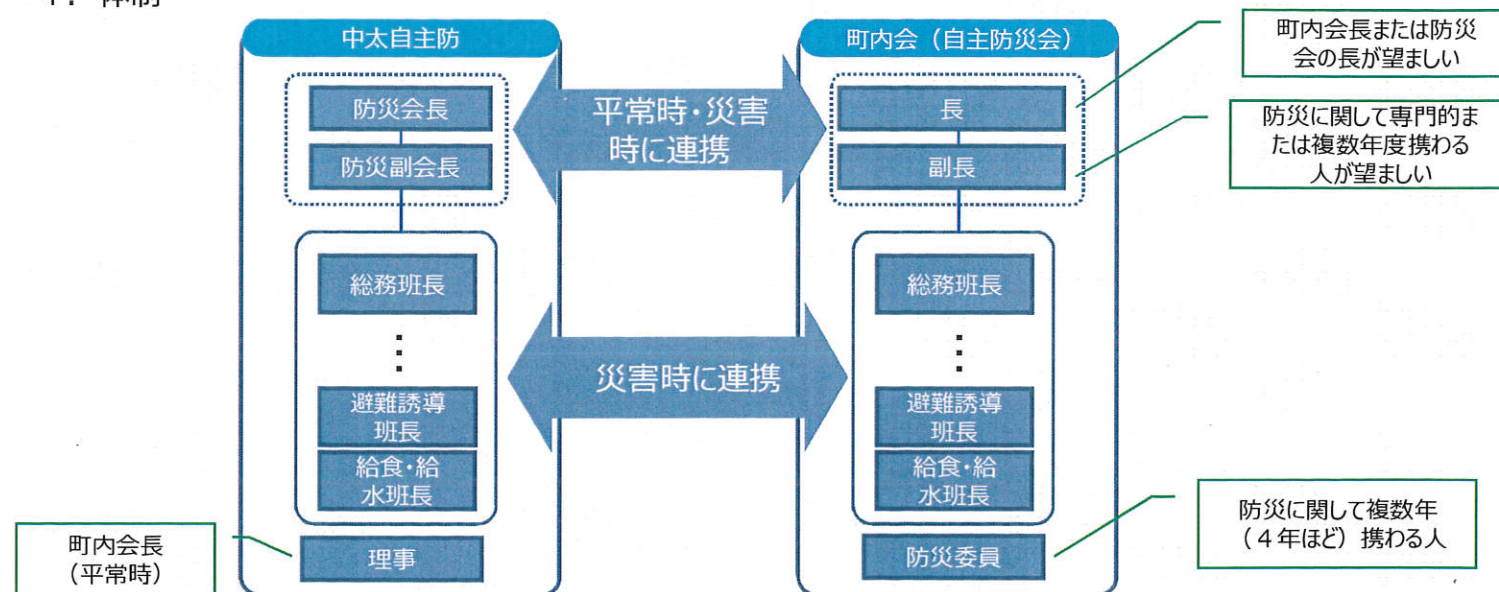
－マネジメント－

④上記①～③までの状態が、継続して改善される仕組みの基礎ができていること。

3. 推進方針

①中太自主防のスキルアップと各町内会のスキルアップを並行して行う。
②防災講演会や防災訓練などの防災イベントのほか、従来通り、運動会や文化祭などの各行事に防災の要素を少し加える。
③自らの力量に合わせて一歩一歩進める。
④楽しみながら活動できるよう工夫する。

4. 体制



各町内（自主防災会）から見た中太自主防との連携概要

・平常時に中太自主防は、町内会（自主防災会）の長を通して、啓発・行事連絡を行います。
・災害時に中太自主防は、災害対策本部を結成し、各町内会（自主防災会）と共に、応急活動を行います。また、中太自主防の各班長は各町内の班長と連携を取り、災害復旧活動を行います。
※イベント原案の企画時には、各町内の防災委員に、防災委員がない場合は防災に詳しい方に相談いたします。

5. 各町内における自主防災組織の活動班づくり

班名	総務班	情報班	消火班	救出・救護班	避難誘導班	給食・給水班	防災委員
平常時の役割	全体調整 他機関との連絡	情報収集・伝達 広報活動	器具点検 防災広報	資機材調達 と整備	避難路(所)や 標識の点検	器具の点検	防災に関して、複数年、 専門的に 携わる人
災害時の役割	活動の統括調整 他機関との連絡調整	状況把握 報告活動	初期消火	負傷者などの 救出・救護	住民の 避難誘導	水や食料の配分 炊き出しなど	

以下の3ステップです。

ステップ1：統率する長および副長を選出。→ ステップ2：各班の班長と副班長を選出。→ ステップ3：防災委員を若干名選出。

6. 中期計画

3年間の予定は下記のとおりです。

No	活動内容	平成28年度 2017.1 - 3	平成29年度 2017.4 - 2018.3	平成30年 2018.4 - 2019.3	平成31年 2019.4 - 2020.3	
【各町内会（自主防災会）】						
01	組織づくり			見直し	見直し	
02	規約（運営ルール）作り ※自主防設立町内のみ		見直し	見直し	見直し	
03	自主的な防災に関する啓発や訓練					
04	中太自主防の企画イベントに参加		DIG 1	DIG2	DIG3	
【中太自主防】						
10	防災学習会		射水市・富山県・四季防災館・射水防災士連絡協議会と連携しながら随時案内			
11	防災訓練 1（DIG：災害図上訓練）		DIG 1	DIG2	DIG3	
12	防災訓練 2（HUG：避難所運営訓練）			HUG	避難所運営マニュアル／生活のルール作りを含む	
13	次年度行事予定 次年度事業準備	1月中 2月中	①防災知識の普及啓発 ②地域防災力確認 ③防災訓練 ④防災資機材備蓄 ⑤災害時要配慮者対策 ⑥他団体との連携			
14	各町内会の防災活動支援		課題を相談していただき、組織づくり・活動計画づくり・啓発の材料提供などを支援			
15	南太閤山地域振興会自主防災会との情報交換会	1月	4月	7月	10月	1月

※DIG1:2,3,9,10丁目 DIG2:4,5,6,7,8丁目 DIG3:12,13・14,15,16,17丁目

※DIG1:2,3,9,10丁目 DIG2:4,5,6,7,8丁目 DIG3:12,13・14,15,16,17丁目

7. 今年度中に各町内で行っていただきたいこと

- まずは町内で話し合い
ポイント：防災についてどうありたいか話し合ってください。そして、中太自主防に結果を連絡ください。
そして、進むべき方向性を合わせていきたいと思います。
防災活動について、進んでいる町内もあれば、そうでない町内もありますが、気にせず。
- 自主防災組織が立ち上がるかどうか考えましょう（中太自主防の担当は、江尻副会長（総務班担当 兼 防災委員）です。）
ポイント：無理せず、自町内の事情に合わせて考えることが大切です。
毎月の町内役員・班長会では、少し防災について話し合ってください。
- 来年度の事業計画に防災力の向上について盛り込んでください。
ポイント：お住まいのみなさんが、楽しんで活動できるような工夫

8. 平成29年度のゴール

各町内で自主防災組織が立ち上がり活動している事、町内の地域特性（危険・便利）を知っている事の2点。

大規模な災害が発生した場合は、行政（公助）の対応だけでは限界があり、自助や共助の取り組みが必要です。自主防災組織は、共助の担い手として期待されています。

